

(仮称) 鎌倉地域の漁港建設にかかるワークショップ

中間報告書案（3月2日版）への意見と対応案

平成24年3月17日

鎌倉市市民経済部産業振興課

中間報告書案（3月2日版）への意見と対応案（1/2）

No.	対象箇所 3月2日版	意見の概要	対応箇所 3月17日版	対応案 3月17日版
①	タイトル	「(仮称) 鎌倉地域の漁港建設にかかるワークショップ」の建設を削除する。	タイトル	修正漏れのため「漁港建設」を「漁港」に修正
②	タイトル	「鎌倉地域の漁業と漁港について考えるワークショップ」にしたかどうか	タイトル	ワークショップの名称については要協議
③	p. 1、1行目	「(仮称) 鎌倉地域の漁港建設にかかるワークショップ」の建設を削除する。	p. 1、1行目	意見の通り修正
④	p. 3、2段落、2行目ほか	「建設に伴う埋立問題や住民の合意が得られていないなどの諸課題があることから、・・・答申が鎌倉市長に提出された。今まで、住民の意見集約や合意形成を目的とした施策は実施されていない。」を追記する（下線部分）。	p. 3 2段落、2行目ほか	意見の通り表現修正
⑤	p. 3、3段落、2行目	「市民、関係団体、学識経験者などによる協議」は、事実と違う部分及び誤解を招く恐れのある表現を削除し修正する。	p. 3、3段落、2行目	「 <u>漁業関係者</u> 、関係団体、学識経験者、 <u>市職員</u> などによる協議」と修正
⑥	p. 3、3段落、5行目	「・・・ <u>いずれも鎌倉地域への漁港建設は必要であると述べられている。</u> 」は事実と違うので、削除または適切な表現に修正する。（下線部分）	p. 3、3段落	当該文章を削除
		「～同上箇所～」は、漁対協関係者に聞いても、人によって印象・認識がかなり違う。疑問（漁港ありき）を引き起こすのでやめてほしい。	p. 3、3段落	
⑦	p. 3、4段落	「漁港建設について市民（第1次=0名・第2次=0名・第3次=2名）、関係団体・・・」と人数を詳しく表記してほしい。	資料1-3、資料1-4	「3. 鎌倉漁港対策協議会」に構成委員の内訳を明記
⑧	p. 3	漁対協と本ワークショップが異なる前提で行われているので、その理解を深めるために、これらに対比した表を追加する。	未対応	要協議
⑨	p. 4 表	表中のワークショップ参加者数について、一般公募と関係団体を区分して詳しく表記する。	p. 4 表	意見の通り修正
⑩	p. 6	「2.2 成果の概要」を、もう少しわかりやすく、具体的（箇条書きなど）に記載してもらいたい。	未対応	要協議

※網掛け表示は、代理出席者、傍聴者からの意見、事務局からの提案を示す。

中間報告書案（3月2日版）への意見と対応案（2/2）

No.	対象箇所 3月2日版	意見の概要	対応箇所 3月17日版	対応案 3月17日版
⑪	p. 6	「2.2 成果の概要」に【鎌倉漁港対策協議会答申についての意見】を追加する。 メンバーが承認している記述を削除することは許容できない。	p. 8	「2.5 鎌倉漁港対策協議会答申について」として記載
⑫	p. 7	「2.4 漁港建設について」の、漁港建設が困難とされた要素に税金の他、沢山の意見が出された <u>環境破壊問題</u> についても追記してもらいたい。（下線部分）	p. 7	「～維持管理費、海岸侵食や藻場の消失など海の環境影響、～」として修正
⑬	p. 6	前回の素案から、「4. 鎌倉漁港対策協議会答申についての意見」が完全に抜け落ちている。前回ワークショップでも異論は無かったので、参加者の総意を反映しているものと考えられることから、この箇所を復活する。	p. 8	「2.5 鎌倉漁港対策協議会答申について」として記載
⑭	資 1-1	「1. 漁港建設の陳情」は詳述しすぎではないか。残すのであれば、「平成 23 年 9 月：陳情第 20 号：鎌倉漁港に関するワークショップ運営についての陳情」も追加することを要請する。	資 1-1	「2. ワorkshop運営についての陳情」として追加
⑮	資 1-3	「3.1 第 1 次鎌倉漁港対策協議会」2 行目「協議会では、 <u>漁港建設の妥当性</u> 、漁港の性格、規模、位置を」、3 行目『結論としては、 <u>「漁港を建設すること自体は妥当であること」</u> 』は事実と違うので削除、または適切な表現に修正する。（下線部分）	資 1-3	「3.1 第 1 次鎌倉漁港対策協議会」の「漁港建設の妥当性」を削除 3 行目以降は、全文の表現を修正
⑯	構成	内容の構成順序が読み手に対して著しく配慮を欠いている。結論的なものが巻末にでてくるのが問題であり、ワークショップの「目的」「前提条件」「結論」の順に簡潔に伝えるような抜本的に構成を見直すべきである。	未対応	要協議
⑰	追加	鎌倉海浜地域において「人命を守る」ことが、現時点の最重要課題であるという認識が書いてない。「血税」を原資とする施策の推進は、海浜地域で「人命を守る」ことを第一課題と考えた場合「漁港建設」は検討の対象にはなり得ず、「漁港建設ありき」で出された「漁対協」答申は、著しく妥当性を欠き、その論理には「無理」がある。今後、本ワークショップの結果を公開した場合、鎌倉海浜地域において「人命を守る」ことには賛同と共感を得られても、「漁港建設」は決して賛同を得られず拙速のそしりを免れない。	未対応	要協議
⑱	追加	資料編に第 1 回から第 3 回までのグループワーク成果を追加（事務局）	未対応	要協議

※網掛け表示は、代理出席者、傍聴者からの意見、事務局からの提案を示す。